

## 【法人の概要】

① 団体名	(公財) 栃木県民公園福祉協会					
② 設立年月日	昭和47年10月17日	③代表者	理事長 小野寺 一行			
④ 所在地等	宇都宮市西川田4-1-1		電話 028-659-5868			
⑤ 設立目的 事業内容	都市公園において遊園地、プール、体育、文化施設及び都市緑化に関する事業を行うこととおして、県民生活に安らぎと潤いをもたらす、県民福祉の増進に寄与することを目的とする。 ①都市公園の管理運営及び利用促進に関する事業 ②都市緑化の推進及び普及啓発に関する事業 ③前項に関する付帯事業及びその関連事業					
⑥ 基本財産 (資本)	総額 3,000千円 (内訳) 栃木県出資額 3,000千円 (100%) 〇〇市(町)出資額 ( %) その他 ( %)					
⑦ 役職員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事	2	3	1	2	0	8
常勤		2				2
非常勤	2	1	1	2		6
監事	0	0	1	1	0	2
常勤						0
非常勤			1	1		2
職員	5	0	0	0	77	82
常勤	5	(1)非常勤理事業務			54	59
非常勤					23	23
臨時						0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代 6	30代 5	40代 15	50代 18	60代~ 15	平均年齢 49.7才

## 【主な事業の事業費・概要等】

(千円、%)

事業名	R5年度 実績	R6年度 実績	事業概要
① 公益目的事業	1,220,770	1,331,603	・都市公園管理事業 ・緑化推進事業
全事業合計に占める割合(%)	86.1	86.5	
② 収益事業等	183,209	194,410	・遊戯施設等事業 ・販売事業
全事業合計に占める割合(%)	12.9	12.6	
③ 法人会計	14,343	13,883	・法人の運営
全事業合計に占める割合(%)	1.0	0.9	
④ ①~③以外の事業			
全事業合計に占める割合(%)	0.0	0.0	
全体事業	1,418,322	1,539,896	

## 〈 (公財) 栃木県民公園福祉協会 から県民のみなさまへ 〉

私たちは、昭和47(1972)年10月の設立以来、50年以上にわたり県営都市公園の管理運営を担うとともに、多くの子どもたちに夢と感動を提供するために、とちぎファミリーランドや万人プールの運営を行ってまいりました。令和7年度現在では、総合運動公園北・中央エリア、井頭公園、那須野が原公園、みかも山公園、日光田母沢御用邸記念公園及びとちぎわんぱく公園の指定管理者として管理運営を担っています。今後も時代のニーズを的確に捉え、県民に「喜ばれ、愛され、親しまれる公園づくり」に努めてまいります。

令和7年7月 理事長 小野寺一行

## 【情報公開】

HP	URL: <a href="https://www.park-tochigi.com">https://www.park-tochigi.com</a>
その他 (情報誌・SNS)	Instagram、X

## 【監査等結果】

名称	実施年月日	結果
令和6年度決算監査	令和7年5月27日	適正
財政的援助団体監査	令和3年12月23日	適正

## 【その他特記事項】

(業務効率化のためのデジタル技術の活用など)  
キャッシュレス決済、web会議

## 【指定管理の受託状況】

施設名	指定期間
栃木県総合運動公園(北・中央エリア)及びとちぎスポーツ医科学センター	令和5(2023)年4月1日~令和10(2028)年3月31日
栃木県井頭公園、栃木県那須野が原公園、栃木県みかも山公園、栃木県とちぎわんぱく公園	令和6(2024)年4月1日~令和11(2029)年3月31日
栃木県日光田母沢御用邸記念公園	平成31(2019)年4月1日~令和11(2029)年3月31日

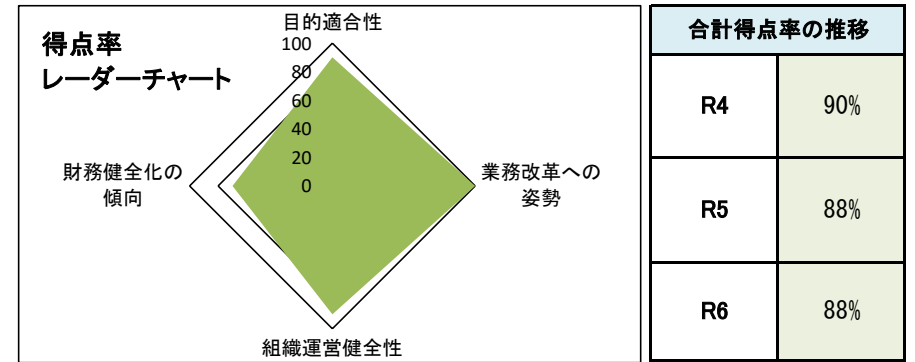
[財務状況]

(単位：円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
資産合計	1,409,006,636	1,554,276,416	1,763,093,830	
流動資産合計	600,089,988	558,705,587	549,477,174	
固定資産合計	808,916,648	995,570,829	1,213,616,656	
負債合計	441,652,913	390,668,671	431,518,303	
流動負債合計	238,802,298	172,680,979	200,574,038	
うち有利子負債	0	0	0	
固定負債合計	202,850,615	217,987,692	230,944,265	
うち有利子負債	0	0	0	
正味財産合計	967,353,723	1,163,607,745	1,331,575,527	
一般正味財産	964,353,723	1,160,607,745	1,328,575,527	
指定正味財産	3,000,000	3,000,000	3,000,000	

[評点集計]

評価の視点	評価のポイント	項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか	5	10	9	90%
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等	5	10	10	100%
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か	5	10	9	90%
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか(前年度・前々年度の財務状況と比較)	5	20	14	70%
合計得点率(各項目得点率の平均)			88%		



(単位：円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
経常収益計	1,502,572,472	1,622,439,830	1,720,675,254	
うち県補助金計	49,152,000	0	0	
経常費用計	1,391,811,370	1,418,321,596	1,539,895,570	
事業費計	1,376,867,959	1,403,978,745	1,526,012,087	
うち人件費	705,787,169	727,052,528	763,601,467	
管理費計	14,943,411	14,342,851	13,883,483	
うち人件費	9,564,650	9,692,869	10,221,714	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	110,761,102	204,118,234	180,779,684	
経常外収益計	0	300,015,000	0	
うち県補助金計	0	4,741,000	0	
経常外費用計	48,516	296,861,012	2	
当期経常外増減額	△ 48,516	3,153,988	△ 2	
法人税、住民税及び事業税	10,293,500	11,018,200	12,811,900	
正味財産期末残高	967,353,723	1,163,607,745	1,331,575,527	

[県からの財政支出]

(単位：円)

区分	令和7年度予算額	令和6年度決算額
補助・交付金	0	0
委託料	666,533	675,841
貸付金	0	0
その他	0	0
計	666,533	675,841

[財務指標]

(単位：%)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R5-R4	R6-R5	算式
自己資本比率	68.66	74.86	75.52	6.21	0.66	正味財産合計÷資産合計×100
流動比率	251.29	323.55	273.95	72.26	△ 49.60	流動資産合計÷流動負債合計×100
有利子負債依存度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	有利子負債計÷資産合計×100
管理費比率	1.07	1.01	0.90	△ 0.06	△ 0.11	管理費計÷経常費用計×100
人件費比率	51.40	51.94	50.25	0.55	△ 1.69	人件費計÷経常費用計×100
独立採算度	104.42	111.81	111.74	7.39	△ 0.07	(経常収益計+経常外収益計-県からの補助金収入) / (経常費用計+経常外費用計) × 100

[自己評価]

	前年度（令和6年度）	当年度（令和7年度）
前年度の法人運営についての自己評価（振り返り）	<p>公益財団法人として利用者に「喜ばれ、愛され、親しまれる公園」を目標に、公益目的事業及び収益事業を展開し、県営都市公園の利用促進に役職員一丸となって取り組んだ。</p> <p>コロナ禍前の利用者数・収入を回復することを目標に事業を推進した。</p> <p>6公園の利用者数は令和4年度を0.5%上回ることができた。</p>	<p>各公園において、民間事業者や地元市町等と連携し、新事業を展開したりイベントを開催するなど様々な取組を行った。その結果、当協会が管理する6公園の利用者数は400万人を超え、対前年度比7.4%増、過去5年間で最多となった。</p>
事業実施上の課題（主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成）	<p>市町や地域住民、民間企業等と連携をより一層強化し、地域一体となった事業で公園を拠点とする地域の魅力・利用価値向上に貢献する。</p>	<p>設立目的は現在も社会的要請があり、当協会の所有施設と管理受託を基本として事業を実施した。アンケート等により利用者ニーズを把握し、実施可能なイベントについては事業計画に反映した。目標とした利用者数を達成できなかった場合は、イベント内容は利用者ニーズを的確に捉えたものだったか、広報は十分に周知されていたか等を検証し、イベント内容や広報計画（時期、媒体、費用）の見直しを行った。公園管理事業、遊戯施設等の事業は、施設の老朽化が進んでおり、維持管理費の増大への対応が課題である。</p>
組織・財務上の課題（主に組織運営健全性・財務健全性化の傾向の評価を基に作成）	<p>組織、人事、財務等の内部管理、体制は適切に整備・運用されており、かつ情報公開による透明性の確保を適切に行った。</p> <p>しかし、公募による指定管理業務が中心であるため、安定的な収入はまだ十分でないと考えている。</p>	<p>年齢構成の平準化のため、中長期的な方針のもと社会人経験者の採用枠で2名採用した。財務面では、公募による指定管理業務が中心であり、また、事業収入は天候に大きく左右されるため、安定的な収入の確保は十分ではない。</p>
県現職派遣の理由、必要性の評価	<p>プロパーの人材不足。</p>	<p>プロパーの人材不足。</p>
課題に対する今後の取組の方向性	<p>多様化する県民ニーズに応えるとともに、誰もが安心して快適に過ごせるよう、地域の実情に応じた、魅力あふれる公園を目指す。</p> <p>市町や民間企業との連携を図る。</p>	<p>新たな民間事業者等とのコンソーシアムによる事業展開、周辺市町や施設との連携による事業展開などにより公園の利用価値と利用者満足度を高め、利用者確保に努めるとともに、老朽化した施設の計画的な更新や修繕を進めるため自主財源の確保に努める。</p>

**[県と法人の役割分担]**

<b>政策目標</b>	地域の魅力や資源を生かした地域の活性化を図るため、快適で魅力にあふれる都市公園づくりを推進する。		
<b>県の役割</b>	都市公園の魅力向上、都市公園を中心としたエリアの地域振興の促進。	<b>法人に期待する役割</b>	都市公園の適正な管理、地元や周辺施設等との連携、及び各公園の特色を活かした取組の実施。

**[県が期待する役割の達成状況] (法人所管部局による評価)**

効果測定	事業概要	効果測定指標	目標値	実績			R6達成率	評価
				R4	R5	R6		
	都市公園の管理運営及び利用促進に関する事業	公園利用者数(万人)	385	380	382	410	106%	B

所管部局評価		評価理由	今後の連携・見直し方針
S	県の期待を大きく上回り達成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園の適正な管理を行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、また、地元や周辺施設等との情報・意見交換を積極的に行い各公園の特色を活かした取組を実施するなど、各公園の利用促進を図っている。</li> <li>・指定管理業務以外にも、遊園地事業、プール事業ほか多くの自主事業で、豊富な経験と高度な専門知識を活かした取組を実施し、公園の魅力向上や地域振興に大きく寄与している。</li> <li>・いがしらリゾート活性化協議会において、井頭温泉等の近隣施設、真岡市等の関係機関と連携し、活性化対策等の検討を進めるとともに、いがしらリゾートとしてのイベントを実施し、地域の魅力創出に貢献している。</li> <li>・とちぎわんぱく公園内にR5.3月に新設した「大恐竜パーク」については、R6から民間事業者とのコンソーシアムにより事業を本格化し、公園利用者数の増加に繋げるとともに、地域振興に大きく貢献している。</li> </ul>	引き続き都市公園の魅力向上や地域の活性化に向けた取組を実施するとともに、より安定的な財源確保のため、市町や民間企業等の連携、及びイベントの積極的な実施等により更なる利用者増・収入増を図るよう指導する。
O	A 県の期待を十分達成している		
	B 県の期待を概ね達成している		
	C 県の期待を実現できていない		

**[総合評価] (県統括部門による評価)**

総合評価		総合的所見	指摘事項
S	「評点集計」の合計得点率75%以上かつ「所管部局評価」が「S」	栃木県民公園福祉協会は、県内の都市公園の管理運営や利用促進、地域住民の健康増進や福祉向上に向けた事業を実施している。 財務面では、自己資本比率や流動比率は高水準であるものの、流動比率等は前年度より低下している。 自己評価では、アンケート等により利用者ニーズを把握し、事業計画に反映した点が評価されている一方、施設の老朽化や維持管理費の増大への対応が課題として挙げられており、計画的な施設の更新・修繕の実施や自主財源の確保等が求められる。 所管部局評価では、都市公園の適正な管理や地域連携の取組、利用者サービスの向上、多様な自主事業の展開を通じて、公園の魅力向上や地域振興、利用促進に貢献しているとしており、今後もこうした多様な事業展開や連携強化、更なる利用者増・地域の魅力向上への取組が期待される。	なし
O	A 「評点集計」の合計得点率75%以上かつ「所管部局評価」が「A」		
	B 「評点集計」の合計得点率60%以上かつ「所管部局評価」が「B」以上		
	C 「評点集計」の合計得点率60%未満もしくは「所管部局評価」が「C」		